



新潟県観光協会は日本版DMOに登録されました

観光庁は観光地域づくりの舵取り役となる日本版DMOの形成・確立を支援するため、平成27年11月から日本版DMO登録制度を創設しており、新潟県観光協会は平成30年12月21日付けで日本版DMOとして登録されました。

1 DMO登録について

新潟県観光協会は平成29年12月に日本版DMO形成・確立計画を観光庁に提出し、平成30年3月30日付けで日本版DMO候補法人 地域連携DMOとして登録されました。

当該計画に基づき事業等を進めており、登録要件が充足したものとして認められました。

2 新潟県観光協会の日本版DMO形成・確立計画

(1) 基本理念

新潟県の観光をまとめ、活用する推進役として、自然と食の宝庫新潟の観光に関わる人たちの満足度の最大化を図る

(2) コンセプト

「うまさぎっしり新潟」～新潟のうまさには理由（わけ）がある～

※概要については別紙をご覧ください。

〈参考〉日本版DMOについて

日本版DMOは、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人

国土交通省観光庁 日本版DMOホームページ

http://www.mlit.go.jp/kankocho/page04_000053.html

本件についてのお問い合わせ

公益社団法人新潟県観光協会 早福、長谷川

TEL 025-283-1188

「うまさぎっしり新潟」～新潟のうまさには理由(わけ)がある～
Niigata Gastronomy

【区域】新潟県全域
【設立時期】平成3年6月15日
【代表者】高橋 正
【マーケティング責任者】早福 亮
【職員数】27人
【連携する主な事業者】

新潟県、県内30市町村・市町村観光協会
観光関連事業者
公共交通機関事業者
経済団体等

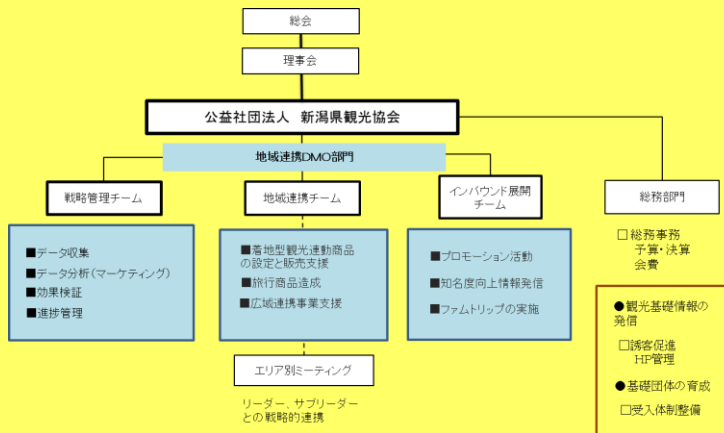


表:KPI(実績・目標)※()内は外国人に関するもの

	28年 (実績)	29年度 (実績)	30年 (目標)	31年度 (目標)	32年 (目標)
旅行消費額 (百万円)	442,568 (7,909)	444,376 (5,521)	483,000 (8,300)	525,000 (8,500)	570,600 (8,700)
延べ宿泊者 数(千人)	10,204 (190)	10,202 (215)	10,750 (350)	11,030 (430)	11,300 (510)
来訪者満足 度(%)	87.4 ()	87.7 ()	87.9 ()	88.1 ()	88.3 ()
リピーター率 (%)	54.3 ()	57.7 ()	58.0 ()	58.3 ()	58.6 ()

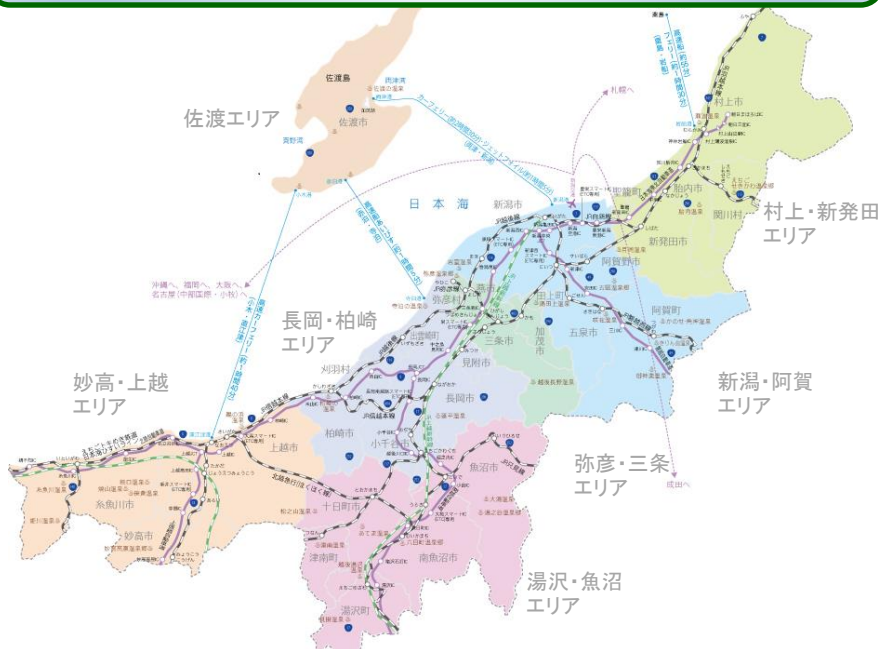
※来訪者満足度、リピーター率については外国人データを現時点で把握していないので、平成30年度中に全国共通基準パラメーター踏査等を活用し目標を設定する。

I. 関わる(地域間連携)

県民の関与度、交流度の向上

- 地域の潜在需要の取り込み
 - 地域プラットフォーム化の促進
- ・「うまさぎしり新潟」のブランディング
- ・広域連携事業支援

「新潟県の観光をまとめ、活用する推進役として、自然と食の宝庫新潟の観光に関わる人たちの満足度の最大化を図る」
～地域資源の活用による地域経営「稼ぐ仕組み」を形成する～



Ⅱ. つくる(受入態勢整備)

観光需要拡大のための受入態勢整備

- 着地型観光の発展的展開
- インバウンド拡大をにらんだ広域観光の推進
- ・着地型観光連動商品の設定と販売支援
- ・首都圏商談会の開催、観光博での誘致活動
- ・サクラクオリティ(宿泊施設評価制度)の導入

Ⅲ. 育てる(人財育成活用)

新潟県観光を支える人材育成

- ## ●地域人財の発掘・育成
- ・観光関係事業者だけでなく地域の歴史、食や物産等に関わる人たちの発掘、育成
 - ・エリア別ミーティングによる協働関係構築
 - ・観光ガイドの育成、登録支援

IV. 伝える(情報発信)

積極的情報発信による「話題づくり」

- 地域情報の収集・統合
- 包括的・戦略的な情報発信
- ・2019年秋「新潟県・庄内エリアデスティネーションキャンペーン」における食を中心にした情報発信、イメージ展開
- ・バズマーケティング等新しい発信方法を活用